2001 年度夏の学校アンケート 集計結果

第 1 部 — 夏の学校準備校作成分集計結果

文責: 柿崎 充
集計: 井上 進輔・松村 宗明・高島 竜彦・山田 高志
2001 年 9 月 11 日

註) 記述式のところは代表的な意見だけを載せています。

1 アンケート提出状況

あなたの参加したパートと学年を教えてください。
Answer: 夏の学校参加者: 291 人 アンケート提出: 170 人

	素粒子	原子核	高エネルギー	計
M1	50	35	6	91
M2	25	6	5	36
D1	17	9	0	26
D2	8	5	0	13
D3	1	2	0	3
?	1	0	0	1
計	102	57	11	170

2 夏の学校全般

1. 今年度は夏の学校は長野県木島平で開催しましたが、この開催地についてどのように感じましたか？。

   (1) 夏の学校開催に適している (2) 適していない

   Answer: (1) 135 人 (2) 33 人 (?) 2 人

   「適していない」を選んだ方は開催に適している場所をどの辺だと思いますか？。
   Answer:
   ・東京
   ・交通の便が悪い
2. 今年度は昨年度に比べてすこし夏の学校の開催時期を遅らせました。開催時期についてあなたが感じたことを選んでください。

   (1) 時期的にちょうどよい (2) 時期的にはやい (3) 時期的に遅い

   Ansewr: (1) 112 人 (2) 5 人 (3) 45 人 (?) 8 人

   また、なにか意見がありましたら書いてください。特に「時期的にはやい」または「時期的に遅い」に○ をつけた方は、どのくらいの時期がよいか教えてください。
   Answer: 7 月後半 (多数)

3. 今年度も例年通り延べ 7 日間夏の学校を開催しましたが、この開催日数は適当だと思いますか？。

   (1) 開催日数はちょうどよい　　(2) 日数が長すぎる　　(3) 日数が短すぎる

   Answer:　(1) 81 人　(2) 86 人　(3) 2 人　(?) 1 人

   「日数が長すぎる」または「短すぎる」を選んだ方は、どのくらいの日数だとちょうどよいと思うか教えてください。

   Answer:

   2 日間: 2 人　3 日間: 10 人　3-4 日間: 5 人　4 日間: 23 人

   4-5 日間: 11 人　5 日間: 23 人　6 日間: 1 人

4. 夏の学校は楽しかったですか？。

   (1) 楽しかった　　(2) 楽しくなかった　　(3) 別にどちらでもなかった

   Answer:　(1) 124 人　(2) 10 人　(3) 35 人　(?) 1 人

5. 夏の学校役職校はよく働いていると思いましたか？。

   (1) よく働いていると思う　　(2) あまり働いていないと思う　　(3) よくわからない

   Answer:　(1) 159 人　(2) 0 人　(3) 11 人

6. その他、夏の学校全体としてなにか意見がありましたら書いてください。

   Answer:

   ・全員で運営を分けるべき

   ・部屋で飲み会は止めて欲しい

3　参加費

1. 参加費についてあなたが感じたことを選んでください。

   (1) 参加費はちょうどよい　　(2) 参加費は高すぎる　　(3) 参加費はもっと高くてもよい

   Answer:　(1) 132 人　(2) 35 人　(3) 2 人　(?) 1 人

2. あなたは参加費はどのような用途で用いられているか知っていますか？。

   (1) 知っている　　(2) 知らない

   Answer:　(1) 86 人　(2) 82 人　(?) 2 人

4　講義、研究会

1. あなたの参加した講義を選んでください。また、その講義に対する感想を聞かせてください。
   (a) 3 者共通講義:
      i.「超対称性粒子の探索」(川越清以氏) [87 人]
   (b) 素粒子パート:
      i.「変貌するひもの統一理論」(糸山浩氏) [77 人]
      ii.「非可換幾何学と場の量子論」(綿村哲氏) [84 人]
      iii.「基本法則の場の理論」(井沢健一氏) [76 人]
   (c) 原子核パート:
      i.「ハイパー核とバリオン間相互作用」(田村裕和氏) [37 人]
      ii.「高励起原子核の構造 -集団性と統計性-」(松尾正之氏) [38 人]
      iii.「クォーク物質は中性子性の描像をいかに変更するか？」(巽敏隆氏) [34 人]
   (d) 高エネルギーパート:
      i.「B decay による CP 非保存入門」{ 宮林謙吉氏) [10 人]
      ii.「JLC 計画の現状と展望」(藤井恵介氏) [8 人]

   Answer:
   ・M1 には難しい。もっと基礎を
   ・声が聞こえにくい
2. 今後の講義で取り上げて欲しいテーマを教えてください。

   Answer:
   ○ 素粒子:　・現象論 (SUSY) ・天文学・Big Bang(元素合成)・宇宙論・SUSY Breaking ・String ・SUGRA
   ・Anomaly ・Instanton ・熱場・量子ホール効果・クォーク閉じ込め
   ○ 原子核:　・Lattice QCD ・不安定核・ハイパー核・核力のスピン依存性
   ○ 高エネルギー:　・ニュートリノの質量
   ○ 他:　・科学と社会問題
3. あなたが参加した研究会と、それに対する感想を聞かせてください。

   Answer:
   ・質疑応答の 10 分は長い
   ・声が小さい
   ・マイクが欲しい
   ・時間オーバー
4. 夏の学校における講義、研究会全体に関する意見がありましたら書いてください。

   Answer:
   ・誰向けの講義かわからない
   ・修論でやったことなどの発表が欲しい
   ・もっとやさしく
   ・マイクの声が小さい

5　宿泊施設

1. ホテルの設備についてあなたが感じたことを選んでください。

   (1) 非常に満足できるものだった。　(2) まあ満足できるものだった　(3) 普通
   (4) あまり満足できるものではなかった　(5) 全然満足できるものではなかった

   Answer:　(1) 56 人　(2) 57 人　(3) 45 人　(4) 9 人　(5) 3 人

   また、なにか意見がありましたら書いてください。特に不満などありましたら書いてください。
   Answer:
   ・1 部屋に 7 人は多過ぎ
   ・部屋を選びたい
   ・自習室が飲み部屋に
   ・○ ○ を囲む会を止めて欲しい (うるさい)
   ・飲み会用の部屋を用意して欲しい
   ・店少ない
   ・布団を毎日かえて
2. 食事についてあなたが感じたことを選んでください。

   (1) 非常に満足できるものだった。　(2) まあ満足できるものだった　(3) 普通
   (4) あまり満足できるものではなかった　(5) 全然満足できるものではなかった

   Answer:　(1) 26 人　(2) 41 人　(3) 46 人　(4) 40 人　(5) 11 人　(?) 6 人

   また、なにか意見がありましたら書いてください。特に不満などありましたら書いてください。
   Answer:
   ・昼食がまずい
   ・昼食の量が少ない
   ・昼食が高い
   ・夕食が多い
   ・冷たい飲物を
   ・夕食が高い
   ・おいしくない
   ・朝食高い
   ・バイキングはいらない

第 2 部 — 2002 年度三者センター校、京都大学作成分集計結果

0. アンケート提出状況

回答者のパート及び学年の分布

	素粒子	原子核	高エネルギー	計
M1	52	36	6	94
M2	25	6	5	36
D1	17	9	0	26
D2	10	6	0	16
D3	1	1	0	2
?	1	0	0	1
計	105	58	11	174

1. 旅費補助について

2002 年度三者センター校は、現在累積している繰越金を旅費補助にあてることを考えております。そこで旅費に関する以下の質問に回答をお願い致します。

1. (1) あなたのお住まいの都道府県をご記入下さい。
   (2) 往復交通費はいくらかかりましたか。
   (3) 交通費のうち、自費でいくら出費されましたか (原子核三者よりの旅費補助の金額は現在のところ確定していないため、考慮に入れず計算をお願い致します)。

   Answer:
   (a) 旅費負担平均額の都道府県分布
   (2) 往復交通費: — 18 ページ 図 (2)transportation expense 参照
   (3) 自己負担 : — 19 ページ 図 (3)private expense 参照
   (b) 旅費負担平均額の人数内訳と平均
   (2) 往復交通費 全国平均: 15,926 円
   (3) 自己負担 全国平均: 11,001 円

		(2)	(3)
(a)	0 円 ~ 5,000 円	27 人	62 人
(b)	5,001 円 ~ 10,000 円	30 人	26 人
(c)	10,001 円 ~ 15,000 円	28 人	20 人
(d)	15,001 円 ~ 20,000 円	40 人	20 人
(e)	20,001 円 ~ 25,000 円	8 人	6 人
(f)	25,001 円 ~ 30,000 円	11 人	8 人
(g)	30,001 円 ~ 35,000 円	5 人	5 人
(h)	35,001 円 ~ 40,000 円	3 人	3 人
(i)	40,001 円 ~ 45,000 円	0 人	0 人
(j)	45,001 円 ~ 50,000 円	2 人	2 人
(k)	50,001 円以上	2 人	1 人
(l)	無回答	18 人	21 人
	合計	174 人	174 人

   (c) (3) / (2) の割合 (自己負担率)

(a)	0%	39 人
(b)	1% ~ 20%	2 人
(c)	21% ~ 40%	6 人
(d)	41% ~ 60%	7 人
(e)	61% ~ 80%	3 人
(f)	81% ~ 99%	1 人
(g)	100%	96 人
(h)	無回答	20 人
	合計	174 人

2. 旅費に限らず、夏の学校の費用に関して負担を感じておられますか。
   Answer:計 174 人中

   (1) 感じる [101 人]　　(2) 妥当 [64 人]　　(3) 安い [4 人]　　無回答 [5 人]

3. 費用面に関して、ご意見があれば記入をお願い致します。

Answer:

・補助を増やして欲しい (5 人)

・ 研究室から補助のでない所や、遠方の大学のひとは大変だと思う。(3 人)

・交通費の負担が大きい。 (3 人)

・東京、大阪圏でやれば旅費は全体的に安くなるはず。(3 人)

・宿泊費、食費の負担が大きい。 (2 人)

・「 夏の学校から 」補助を受けるというのはど うかと思う。

・役職の人だけでも全額補助を出すべき。

・RCNP からの補助を獲得すべき

・学振なので関係なし。

・補助が出るので関係なし。

・遠方の大学の学生ほど「 夏の学校 」のような機会は貴重。

・少々高くなっても旅行会社などに外注し準備校の負担を減らす。

・何故 200 万円も繰越金が残るまで気が付かなかったのか？

・繰越金を旅費にまわす事に大反対。・M2 以上にも補助を希望する

・旧帝大のように、研究室からの補助を受けている人と受けられない人との間で、旅費の補助の額の調整をしてほしい

2. 夏の学校の意義

[以下の集計は、次の解答によって別けて行なっています。
3 夏の学校の運営に携わったことがあるか？
(I) ある (II) 多少はある (III) 全くない]

1. 夏の学校はあなたにとって有意義でしたか？またその理由をご記入下さい。

(a) 有意義であった　　(b) 有意義でなかった　　(c) どちらとも言えない

Answer:

3 の回答	(a)	(b)	(c)	無	計
(I) ある	22	1	7	1	31
(II) 多少ある	15	2	6	0	23
(III) ない	74	5	37	3	119
無回答	0	0	1	0	1
合計	111	8	51	4	174

またその理由をご記入下さい。

Answer:

(positive)

・他大学との交流が持てた	43 人
・研究会・講義が勉強になった	18 人
・他分野の話が聞けて良かった	5 人
・視野が広まった	4 人
・大学以外の場所で勉強できて、気分転換になった	2 人
・研究会で発表することが良い経験となった	2 人
・一日中のんびり過ごせた	2 人
・久々に酒を飲んだ	2 人
・修論の話を聞けて、将来の参考になった。	1 人
・同じ分野の話で理解できた	1 人
・三者総会が早く終わった	1 人
・勉強の理解が深まった	1 人
・山や川に出かけて楽しかった	1 人
・よく遊べた	1 人
・講師と長い間話をすることができた	1 人
・世間を知った	1 人
・楽しかった	1 人
・ためになった	1 人
・たくさんの人と会って、いい刺激になった	1 人

(negative)

・講義が分からない	7 人
・様々な雑事に追われて、有意義とは言えなかった。	2 人
・講義内容に興味がない	2 人
・宿泊費を払わなくても講義が理解できれば良い。	
・酒を飲んでばかりであった。	1 人
・doctor 向けの企画を増やすべき。	1 人
・最初に行なわれた講義と、最後に行なわれた講義に興味があったので、日程的に合わなかった。	1 人
・ポスターセッションなどの議論をする機会が少なかった。	1 人
・講義には改善すべき点が多い。	1 人
・長期滞在のため体調を崩し、午後の研究会などには出ることができなかった。	1 人
・他大学の人との交流が、懇親会以外にはほとんど無かった。	1 人
・参加者のレベルが低下し、それほど意味のあるものとは言えなかった	1 人
・精神的に疲れた	1 人
・期間が長くて、後半はだれた	1 人
・勉強が捗らなかった	1 人

2. 夏の学校に関しては、不祥事の発生や役職校への負担の集中等の問題点も指摘されています。これらのことも踏まえた上で、夏の学校をこれからも存続させるべきであると考えておられますか。

(1) 是非存続させるべき　　(2) どちらかと言えばあった方が良い
(3) どちらかといえばないほうが良い　　(4) 是非廃止すべき

Answer:

3 の回答	(1)	(2)	(3)	(4)	無	計
(I) ある	15	9	3	3	1	31
(II) 多少ある	7	12	2	2	0	23
(III) ない	41	63	9	6	0	119
無回答	0	0	1	0	0	1
合計	63	84	15	11	1	174

またその理由をご記入下さい。

Answer:

(positive)

・若手が交流するよい場所である	27 人
・様々な研究の話が聞ける唯一の場所なので、あった方が良い	5 人
・視野が広がる	4 人
・不祥事は事故と同じで、夏の学校の存続とは関係なし	4 人
・形を変える必要がある	2 人
・よい息抜きになった。	2 人
・仕事の負担は周期的に各大学が背負っているので 仕方なし。	2 人
・いろいろな刺激を受けることができる。	2 人
・同年代の人と知り合うことは必須	2 人
・全国からマスターが集まる唯一つの場所	1 人
・(勉強する環境が整えば) 勉強するのによい場所だ	1 人
・研究に支障をきたさない負担なら良い	1 人
・問題点以上に存在の利点もある。	1 人
・楽しいから	1 人
・真面目に講義を受けると 理解が深まる。	1 人
・M1 の人は研究会の雰囲気が感じ取れる	1 人
・この様な経験は必要。	1 人
・Dの人と話せる。	1 人
・講義は難しかったが、耳学習にはなった	1 人
・問題点は回避できる範疇の程度と思われる	1 人
・三泊四日ぐらいですればよい	1 人

(negative)

・役職校の負担が大きい。	17 人
・研究会は「夏の学校」以外にも多数開かれている。	3 人
・不祥事がこれ以上続くなら、止めた方が良い。	3 人
・山積みになった問題点によって 廃止すべきという意見が多いなら 止むなし	2 人
・三者が集まって開催する意味がない。	2 人
・役職校の人と、一般参加者のギャップが有る限り、ぜひ存続させるべきとはいえない。	1 人
・「夏の学校」の運営は、他の研究会に比べて多くの労力を必要とする。	1 人
・騒ぎに来ているだけの人間が多数いる	1 人
・一部の間の人間関係が悪くなる	1 人
・参加を強制される	1 人
・存続するなら「有志」でやればよい	1 人

3. 三者共通講義

1. 今回の三者共通講義に出席されましたか。

   (a) はい　　(b) いいえ

   Answer:

	1-(a)	1-(b)	無回答	合計
素	73	32	0	105
核	31	26	1	58
高	5	6	0	11
合計	109	64	1	174

2. (「はい」と回答された方のみ) 今回の三者共通講義の内容は、興味が持てましたか。また、今回の三者共通講義に関する感想があればご記入下さい。

   (1) 非常に興味が持てた　　(2) 興味が持てた　　(3) まあまあだった
   (4) 退屈であった　　(5) 非常に退屈であった

   Answer:

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無	合計
素	7	25	25	11	5	0	73
核	2	5	10	11	3	0	31
高	1	3	1	0	0	0	5
合計	10	33	36	22	8	0	109

素粒子パート

・わかりやすかった。	3 人
・楽しかった	2 人
・実験のみの話に偏らず、理論の人が聴いてもわかる内容であった。	1 人
・実験のことについて聴くことはあまりないので良い機会だった。	1 人
・ほとんど既知の内容だった。	1 人
・理論的な内容であると勝手に考え込んでいた。	1 人
・M1 に対するコメントが無かった。	1 人
・(超対称性の実験の講義であるが) 三者共通の利点が感じられない	1 人
・理論が適当すぎる	1 人
・ぜんぜん違う分野の専門的な話という気がした。理解できなかった。	1 人
・実験で見えている物理が分かった。	1 人
・もう少し詳しい話が聞きたかった。	1 人
・偏りすぎではないか？	1 人
・話の上手な講師がいい。	1 人
・後ろの方だと OHP が見辛かった。	1 人

原子核パート

・実験よりも理論の方が良かった。	1 人
・休みが欲しかった。	1 人
・後ろの席しか空いてなく、OHP がよく見えなかった。	1 人

高エネルギーパート

記述回答なし

3. (「いいえ」と回答された方のみ) 出席されなかった理由をご記入下さい。

(1) 三者共通講義の実施されている日程には参加していなかったから
(2) 内容的に関心が持てなかったから
(3) その他 (以下に具体的にご記入下さい)

Answer:

	(1)	(2)	(3)	無	合計
素	18	6	7	1	32
核	9	13	4	0	26
高	3	2	1	0	6
合計	30	21	12	1	64

4. 2002 年度センター校は、三者共通講義のテーマについて検討を致しております。

(a) 以下のそれぞれのテーマについて、興味の度合いを以下の基準で評価をお願い致します。

(i) 従来どおりの実験の講義
(ii) 実験系向けの素粒子・原子核理論の初歩
(iii) 素粒子・原子核以外の分野の物理学
(iv) 物理から離れた自然科学分野
(v) 独立行政法人化問題
(vi) OD(オーバード クター) 問題
(vii) 科学者の社会的責任

(1) 是非とも聞いてみたい　(2) 聞いてみたい　(3) どちらともいえない
(4) 興味がない　(5) 全く興味がない

Answer:

(i) 従来どおりの実験の講義

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無	合計
素	17	40	29	8	8	3	105
核	11	20	13	10	3	2	58
高	3	4	3	0	0	1	11
合計	31	64	45	18	11	6	174

(ii) 実験系向の素粒子・原子核理論の初歩

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無	合計
素	14	45	26	10	9	4	105
核	20	18	11	5	2	2	58
高	2	4	2	2	0	1	11
合計	33	67	39	17	11	7	174

(iii) 素粒子・原子核以外の分野の物理学

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無	合計
素	13	36	37	8	7	4	105
核	11	22	15	4	5	1	58
高	2	3	3	0	2	1	11
合計	26	61	55	12	14	6	174

(iv) 物理から離れた自然科学分野

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無	合計
素	10	32	38	16	5	4	105
核	6	20	18	6	7	1	58
高	1	4	3	0	2	1	11
合計	17	46	59	22	14	6	174

(v) 独立行政法人化問題

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無	合計
素	10	18	38	18	17	4	105
核	4	11	10	13	18	2	58
高	0	1	2	3	4	1	11
合計	14	30	50	34	39	7	174

(vi) オーバードクター問題

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無	合計
素	20	31	25	12	13	4	105
核	9	18	11	10	8	2	58
高	0	4	1	2	3	1	11
合計	29	53	37	24	24	7	174

(vii) 科学者の社会的責任

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無	合計
素	12	25	34	16	13	5	105
核	8	13	12	10	13	2	58
高	2	2	2	0	4	1	11
合計	22	40	48	26	30	8	174

(b) 関心のあるテーマがあれば具体的に以下に記述をお願い致します。

Answer:

- 素粒子パート

・世界との交流についての全般的な話。
・昔の人、有名人などの話 (たとえば益川さん)。
・量子力学。
・物性理論。
・最近の話題。
・幾何学や群論など、物理と関係のある数学。
・superstring から QED、QCD までの系統的な話。
・数学
・重力波の観測
・宇宙論
・中高の理科離れ
・将来の素粒子の在り方
・疑似科学
・interpretation quantum logic
・生物系の話
・物理講義の在り方
・エネルギーシフト
・CP の破れは本当に見えたのか
・コライダー物理

- 原子核パート

・超伝導
・有名人を呼んでほしい
・物性の多体問題
・哲学
・ラクトスの分析
・詩とレトリック
・記号と組み立て
・日本語文法
・ナノテクノロジー
・バイオテクノロジー

- 高エネルギーパート

記述解答なし

5. その他、三者共通講義に関するご意見、あるいは三者共通講義に代わる企画に関するご意見があればお願い致します。

Answer:

- 素粒子パート

・大変だと思うのでやらなくてよい 3 人
・講義は中日あたりにやって欲しい。
・日程が合わず出席できなかった。
・内容に魅力を感じなかったので出席しなかった。
・最近、国は 即 生活に直結する研究に金を使い、基礎科学にはあまり使わないでおこうとか考えている。その辺りの問題を先生・学生で議論する
・もう少し三者の特色を出したほうがよい。
・来年も高エネの話がいい
・今回の内容には非常に興味が持てた
・大変だと思うのでやらなくてよい
・続けたほうが良い。・実験お話を分かりやすく説明してもらうのが良い。
・代りというわけではないが、三者ポスターセッションをやったらどうか。

- 原子核パート

・今回みたいなので良い
・難しい
・最新ではなく基本が聞きたい
・部屋が広くてトラペが見えない
・知らない分野で着いていけない

- 高エネルギーパート

記述解答なし

4. 総会・パート総会について

1. 現状の (a) 総会・及び (b) パート総会それぞれについて、議事の進行に関して評価をお願い致します。

   (1) 非常に円滑であった　　(2) 円滑であった　　(3) まあまあだった
   (4) 問題がある　　(5) 大いに問題がある

   Answer:

(a) 総会	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無	計
	64	41	27	6	2	34	174

(b) パート総会	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無	計
素	57	23	9	1	1	14	105
核	0	5	19	20	5	9	58
高	4	2	2	0	0	3	11
合計	39	20	28	20	6	20	174

   また、具体的なご意見があれば以下に記入をお願い致します。
   Answer:
   ・マイクを使っても後ろまで声が届かないことが、意識をさらに低下させている。 (4 人)
   ・パート総会では、意見を言い合うだけでまとまりがなかった。(原子核) (3 人)
   ・議長が意見を言うべきではない。 (3 人)
   ・今回のような感じでよい (2 人)
   ・今回は特に問題が起こらなかった事もあって本当に円滑であったと思う。(2 人)
   ・北沢さんの報告見事 (2 人 (但し共に京大))
   ・人によって 議題の理解がまちまちで 噛み合っていなかった。 (2 人)
   ・総会が短時間で終ったのは、単に参加者の意識の低下であって、本当に良いことかどうか疑問である。
   ・議案が少ないような気がした。
   ・参加しておりません。
   ・全員で参加する必要はない
   ・議案書に、かかれるべきでない言葉が用いられていることが問題
   ・黒板はほとんど見えない
   ・一部の大学の一部の人間だけでのみ議論されていて、参加者の九割以上はいてもいなくても同じ
   ・皆 自分の意見を押し通そうとしているだけに見えた。
   ・不十分な議論で多数決に持っていくのは問題がある。
   ・保留という選択肢も欲しい。
   ・意見を言いやすい雰囲気にすべきだと思う。
   ・つまらなかった。

2. 提出される議案の様式・議事進行の方法を定める規約があった方が良いと考えますか。また、具体的なご意見があれば以下に記入をお願い致します。

(1) 是非必要である　(2) 必要である　(3) どちらとも言えない
(4) 必要はない　(5) 絶対に不必要である

Answer:

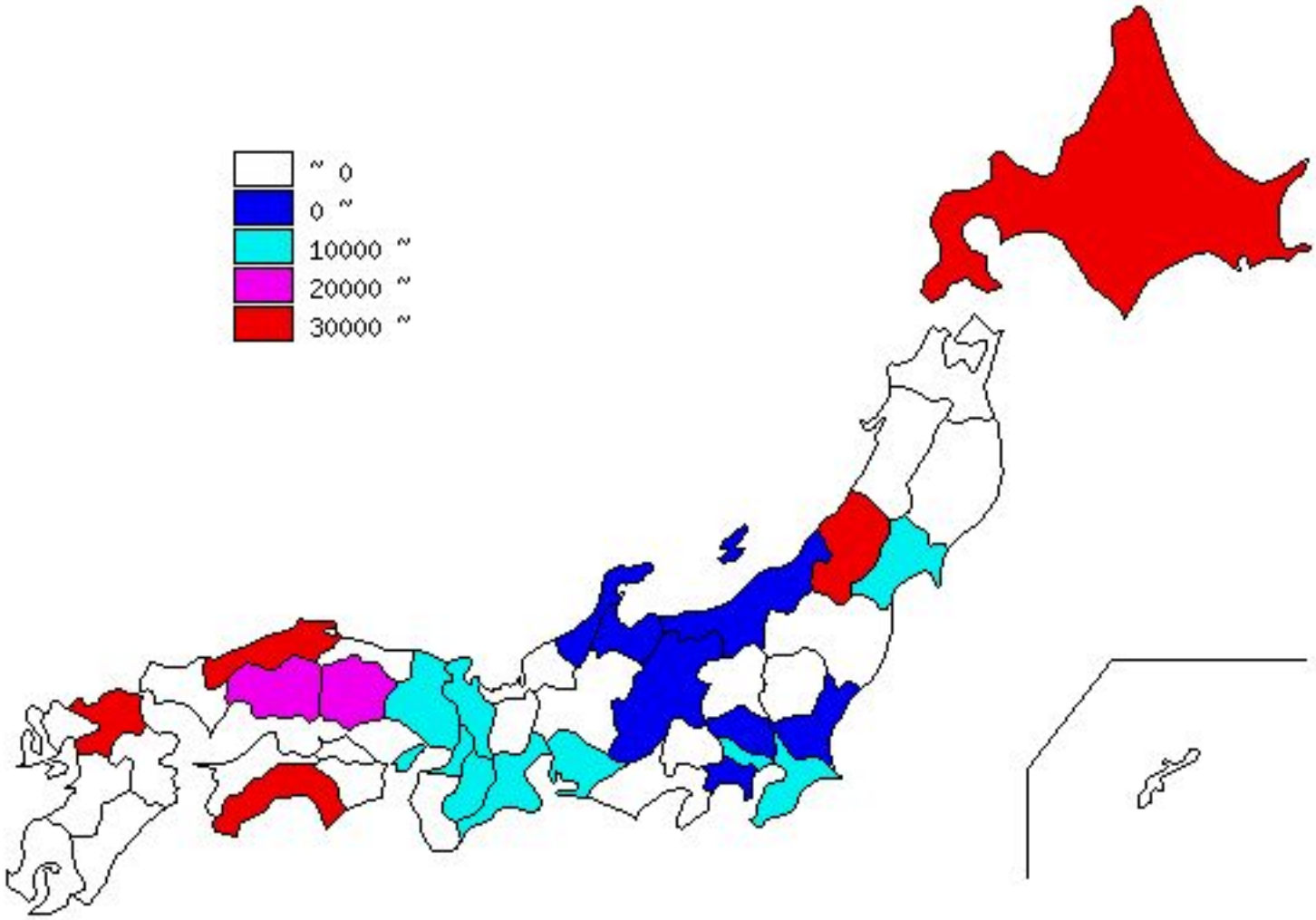
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	無	計
10	36	54	53	9	12	174

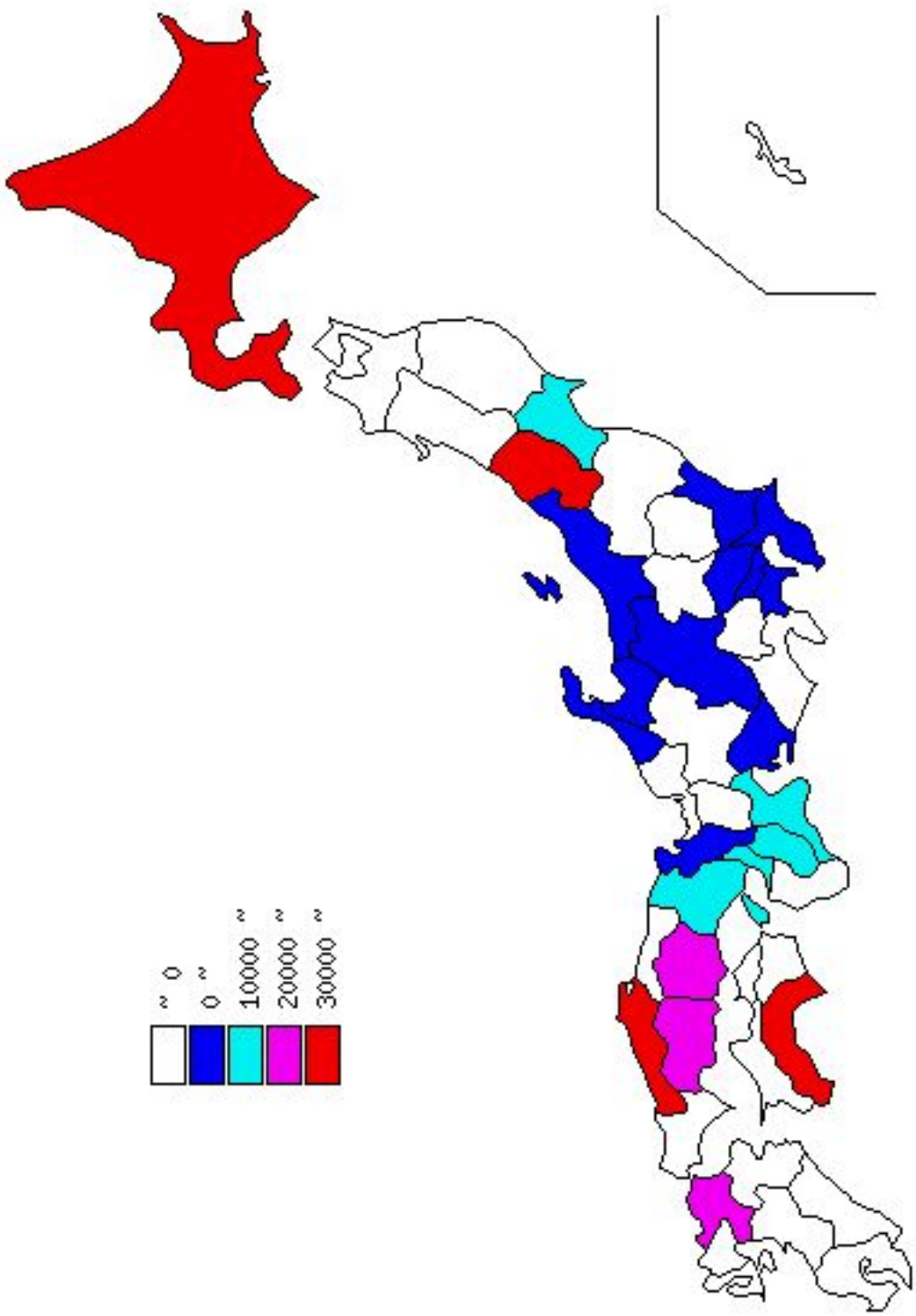
また、具体的なご意見があれば以下に記入をお願い致します。

Answer:

・議事進行のための規約であれば、作るまでもない。 (4 人)
・事務局内部での内規 or 簡単な引き継ぎマニュアルのようなものを整備するのが現実的 (2 人)
・生活面の規約や、夏の学校に参加するための決まりごとについての規則なら必要だと思う。
・あまり最初から規約にこだわりすぎないほうがよいのではないか？
・もっと他にすることがあるはず。
・臨機応変にすれば良い。
・良いシステムであれば、あったほうがスムーズに話が進む。
・大団体に最低限の規約は必要
・形式張る必要なし
・「つながりが緩やかな団体」であることと、ルールがいるかいらないかは別問題
・規約があると逆に訳の分からない動議を招いてしまうことにならないか心配
・規約は無ければ無いほど良い。
・人の入れ替わりが激しいので、効力を持ち難い
・(規約の) 具体的なことが良く分からない。
・今のままで十分機能している。
・その場に合わせた規約次第で定めるべきか定めるべきでないか判断したほうがいいと思う。
・議事進行が滞ったら、議長は仕切って進めてほしい
・一般には必要だが、中身次第
・議事録を取るのは当然
・(議長の) 独断専行はなくすべき
・あって当然

(2) transportation expense





(3)private expense